

県立二葉の里病院 泌尿器科 池田 樹生

私は県立二葉の里病院に勤務している泌尿器科専攻医の池田樹生です。広島県広島市中区千田町出身で広島城北高等学校を卒業し、令和3年に福岡大学医学部医学科を卒業し医師となりました。

私が医師を目指すきっかけとなったのは、私が高校1年生の9月の時でした。部活動の朝練習のため早朝に自転車で通学していた際に、バイクとの交通事故を起こしました。通行人の方に救急要請していただき、救急車で県立広島病院に搬送され、救急外来で診察・検査をしていただきました。救急車で搬送されている間、ひどく揺れる車内では、この後はどうなるんだろうかと動転していましたが、私が救急外来に搬送されてからの看護師・医師の方々の一糸乱れぬ対応に強い安心感と「カッコイイ」と思ったことが、私が医師を目指すきっかけとなった出来事でした。診察の結果、左の橈骨・尺骨が骨折していたため、整形外科にて手術をうけましたが、その際にも手術を行う医師は「カッコイイ」と強く意識し、医師を目指すことに決めました。その後、福岡大学医学部に入学し、令和3年に無事医師国家試験に合格することができました。

福岡大学卒業時には、特に専攻を希望する診療科は決まっていませんでしたが、「カッコイイ」医師になりたいという医師像を持ちながら、広島大学病院で2年間初期研修をさせていただきました。初期研修1年目でさまざまな科をローテーションする間、16歳の時に感じたように手

術をする「カッコイイ」医師になりたいと思うようになりました。その後、初期研修2年目で泌尿器科をローテーションした際に、数多くのロボット支援手術を行っており、私もロボット支援手術をたくさん行う「カッコイイ」医師になりたいと思い、泌尿器科を専攻することを選択しました。

初期研修終了後、たかの橋中央病院で1年間医療に従事させていただき、泌尿器科の基礎的な症例を多く経験しました。その後広島大学病院で1年間勤務し、数多くのロボット支援手術を含むより専門的な疾患を経験しました。特にロボット支援手術の助手を経験することで、より手術のオペレーターになりたいと意欲が高まりました。

今年の4月より、県立二葉の里病院で専攻医3年目として従事することとなり、中規模病院として基礎的な疾患から専門的な手術まで幅広い症例を経験しています。熱望していたロボット支援手術のオペレーターの研修が始まり、環境も大きく変わり、スタッフとのコミュニケーションも一から構築しながら、忙しくも充実した日々を過ごしております。2年後には専門医試験も控えており、まだまだ学ぶことも多く不安な気持ちもありますが、初期に志した「カッコイイ医師」を胸に今後も研鑽を積んでいく所存です。勉強不足、経験不足で未熟ではございますが、今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

かかりつけ医機能報告制度が始まります

- ・特定機能病院を除く全ての病院、診療所が対象です。
- ・初回報告は、令和8年1月～3月です。
- ・かかりつけ医機能報告制度の概要及びガイドラインはこちら

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000123022_00007.html

